

第24回 全国街路事業コンクール

# 特別賞

## 山形県

### 山形広域都市計画道路3・3・5号 山形停車場松波線整備事業

都市名	山形市	事業主体	山形県
-----	-----	------	-----

#### 事業概要

山形停車場松波線は、JR山形駅から一般国道13号、山形県庁に至る県道山形市のシンボルロードとして、また、山形自動車道山形蔵王ICへのアクセスとしての幹線道路である。しかし、本事業区間は中心市街地として交通量が増加しているなか、現道幅員が狭くかつ歩道がない未整備区間のため、常時交通渋滞を招いている状況であった。そのため、本事業は県道山形市の中心市街地に位置する諏訪町からあこや町の未整備区間において、2車線の現道を両側歩道の4車線に改築し、中心市街地の都市機能の向上と交通混雑の解消を図るものである。本事業により、市街地中心部の渋滞緩和と交通容量の増加が図られ、交通の定時性が改善された。また、広幅員の歩道と無散水消雪施設や電線地中化等により、中心市街地における安全で快適な歩行空間が確保された。ランドマークの大ケヤキを事業区域内に取り込み保全対策をするなど地域の自然や歴史、文化といった貴重な遺産との調和を図っている。

- 事業延長：1,422m
- 幅員：27.0m～29.15m(4車線)
- 事業費：約195億円
- 事業期間：平成元年度～平成22年度

#### 表彰理由

冬期間の安全かつ快適な歩行空間の確保に、地下水を循環させる無散水消雪設備を採用したことが高く評価された。また、都市計画の変更とあわせて道路線形の変更を行い、ランドマークの「大ケヤキ」を保存した歩行空間が評価された。今後、樹木付近の神社との一体化が図られれば、更にシンボリックな空間となることが期待される。

#### 周辺環境の改善 (夏季・冬季で照明灯の光が変化)



#### 無散水消雪設備の設置



#### 樹木と調和した歩行空間

